

# ペトロ・ラービグ 再建プランについて



住友化学

社長 岩田 圭一

2024年8月7日

Change and Innovation

~ with the Power of Chemistry ~

## 当社・アラムコ両社の「共同タスクフォース」で、再建プランの合意

### 現状認識

- 日本・サウジアラビア間の友好関係を象徴するプロジェクト
- 外部環境の変化（石油精製・石化市況低迷）に伴い赤字拡大
- 当社とアラムコで戦略上の方向性、立ち位置の違いが顕在化  
（当社はコモディティ事業から脱却しスペシャリティへシフト、当社最大の役割である技術移転完了）
- 当社戦略に基づき、同社への更なる資金支出は実施しない意向

### 1st Step

両社間での課題の共有は実現

### 2nd Step

24年5月～ 両社で「共同タスクフォース」を結成し、短期集中で議論

ペトロ・ラービグ社の再建に向け、  
資本構成見直しおよび債務削減措置について両社で合意

# ペトロ・ラービグ 再建プラン

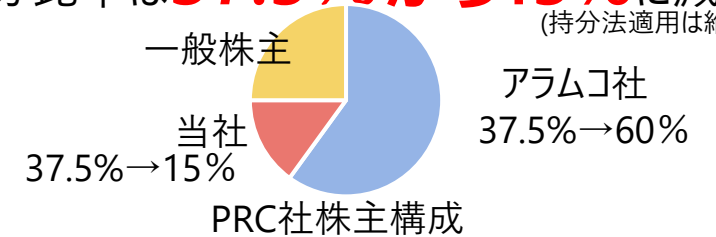
PRC社の競争力強化に向け、大幅な財務改善および収益力強化を図る

## 1 約\$3bnに及ぶ財務改善プラン

### 1-1 資金提供（約\$1.4bn）

- 当社からアラムコ社への株式売却により**資本構成を再編**
- 当該株式売却によって得た資金約\$702mをPRC社へ拠出
- アラムコ社も同時に、**同額**をPRC社へ拠出  
→ 借入金返済、金利負担軽減へ

当社持分比率は**37.5%から15%に減少**  
(持分法適用は維持)



### 1-2 債権放棄（約\$1.5bn）

- アラムコ社および当社からPRC社への貸付金\$750mを、それぞれ債権放棄
- PRC社の累積損失および借入金を大幅削減

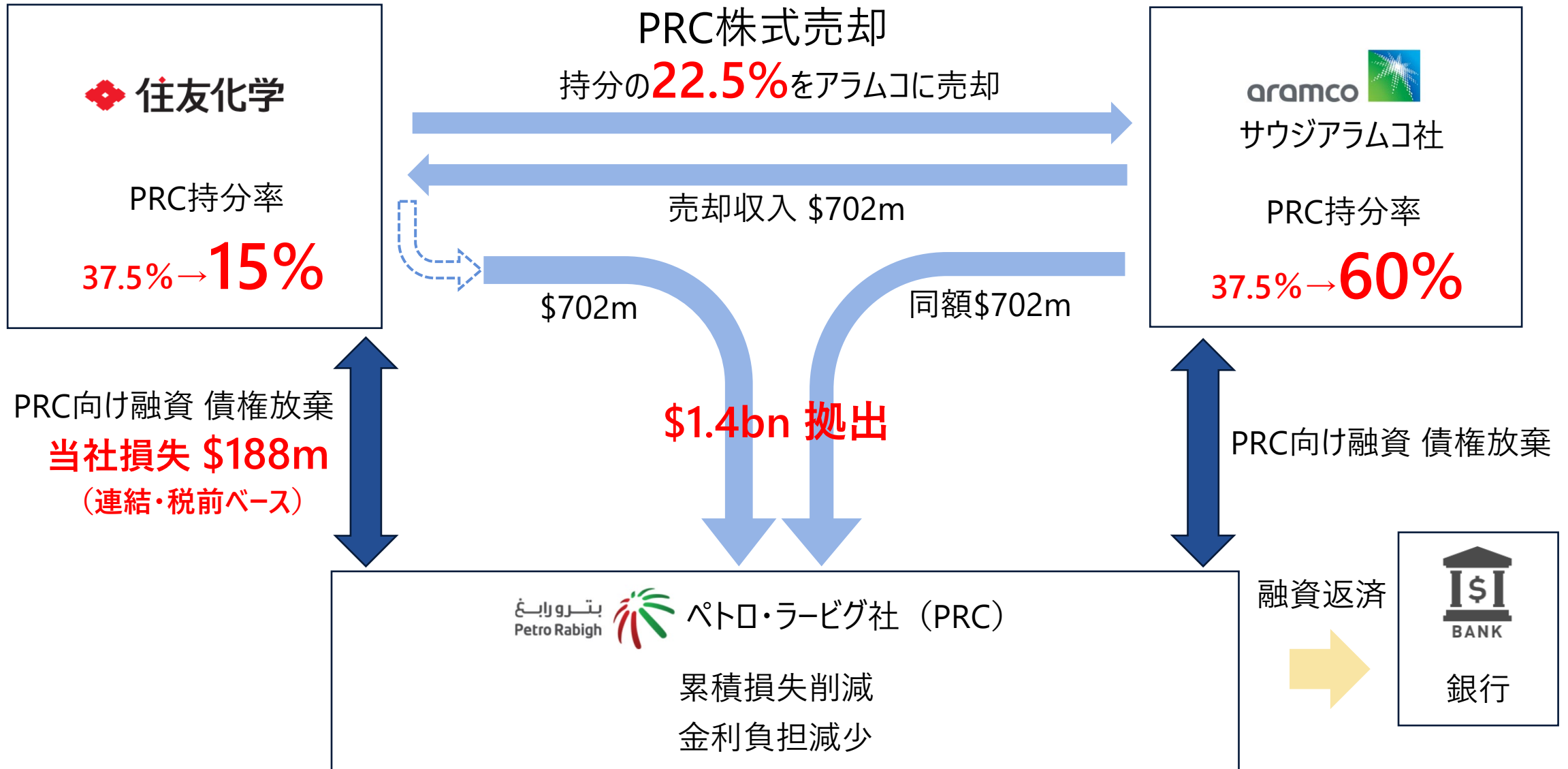
当社連結決算で計**\$188m**の損失を計上  
(債権放棄損と持分法利益とのNet)

## 2 収益力強化プラン

- 短期策として、以下を実行中
  - エタンクラッカー・HOFCCのデボトル解消によるオレフィン増産
  - 業績改善策（Transformation Program）の実行
- 中長期策も含む今後の対策の詳細はPRC社が公表予定

PRC社の損益改善を通じて、  
当社の持分法投資損益も改善

# (参考) ペトロ・ラービグ 財務改善プラン 全体像



### 注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。